

※外傷の応急手当

すり傷、切り傷、刺し傷……。応急手当の仕方もケガの種類によって異なります。今回は、すり傷、切り傷の手当ての仕方をまとめてみました。

●すり傷

汚い手で触れないようにして、まず傷口の消毒を！

1. 傷口が汚れていることが多いので、水道水など「流水」で十分に洗い流します。
2. 傷を消毒します。オキシドールなどの消毒薬を傷口にひたし、出てきた泡をガーゼ等でそっと押さえるようにします。
3. 傷口に滅菌ガーゼを当て、包帯をしておけば（傷口が小さい時は、ばんそうこうを貼る）自然に治ります。
4. ひどく化膿したときや、痛むときは病院の診察を受けた方がよいでしょう。

●切り傷

包丁やナイフ、ガラスなどで切った直線的な傷。皮膚の表面だけでなく、皮下組織まで傷つき、出血することがあり、止血→消毒が基本だが、なかなか出血が止まらないなど、傷が深いときは病院に行って診てもらった方が良いでしょう。



◆浅い傷の手当◆

- ・ 滅菌ガーゼを傷口にあて、軽く押さえて止血します。
軽い出血は**2～3分**で止まることが多いです。
- ・ 消毒薬で消毒します。
- ・ 滅菌ガーゼを傷口にあて、ばんそうこうを貼るか包帯を巻いておきましょう。



◆深い傷の手当◆

- ・ 滅菌ガーゼを傷口にあて、強く押さえて止血をします。
- ・ 傷口を強く押さえたまま、傷があるところを**心臓よりも高く**します。
- ・ ガーゼの上から包帯をまいて病院にいきます。

